

行く年、2023 年を振り返って

今年は皆さんにとって、どのような年だったでしょうか。

世界では、イスラエルのガザ侵略です。ナチスによって民族皆殺し（ホロコースト）を受けたユダヤ人が、今度は自らが、パレスチナ人を虐殺（ジェノサイド）しているのです。犠牲者の多くは、子供や病人等の生活弱者であり、絶対に許されません。被災地の避難者の多くの人達は、パレスチナ人の避難者に対して、同じ思いで心を寄せています。

日本では、国力の低下です。アベノミクスとそれに続く黒田日銀の異次元の金融政策の失敗に因るものです。失われた 30 年間では、規制緩和によって非正規雇用が増えて、賃金はほとんど上がりませんでした。また、財政赤字（借金）が 1,270 兆円に達しました。世界のほとんどの国では、歳出が増えれば、歳入（税金等）を増やします。しかし日本では、国が赤字国債を発行して、それを日銀が無尽蔵に買っています。もしも世界経済が不況になれば、日本は、財政では日本政府のデフォルト（債務不履行）、金融では日銀の倒産（債務超過）になってしまいます。

原発関係では、COP23 の会議で、何カ国かで 2050 年までに原発を 3 倍化するという声明が出されました。「福島第一原発事故は、最も大きな環境破壊だ」「原発のコストは自然再生エネルギーのコストよりも高くなって、採算が取れない」「原発の計画・建設・稼働には 20 年かかる。それまで二酸化炭素（CO2）を出し続けてもいいのか」等々の批判が、民間の環境団体や反原発団体から出されました。

また国内では、対馬市では、核の最終処分場の調査を議会が承認しましたが、市長が反対して国に申請できませんでした。また、山口県上関町では、中国電力の建設予定地に、核の中間貯蔵施設を建設する旨の請願が、議会と町長が可決承認しました。祝島の漁民を中心に、息の長い反対運動が続けられています。

福島県では、富岡町・大熊町・双葉町・浪江町・葛尾村・飯館村の帰還困難区域の中にある「特定再生復興拠点区域」の全てで、避難指示が解除されました。しかし、町村全体でも、大震災・原発事故前に住んでいた住民の多くは、戻って来ていません。12 年の歳月は、避難者にとっては長すぎました。被災地の自治体は、(戻らない)旧住民よりも、(新たに来る)新住民の為に、施策をチェンジしています。

私個人にとっては、コロナ禍で行けなかった、海外への個人旅行を再開しました。9 月にはタイ・ラオスへ、10 月には香港へ行きました。1 ドル 150 円というドル高円安で、現地での物価の高さにびっくりしました。食費も高いです。バスや鉄道の交通費は安いです。私は足腰が弱くなって、長く歩くことができなくなってきました。空港内での移動も結構大変です。現地では、タクシーを使うことも多くなりました。

◇今年も大変お世話になりました。良い新年をお迎えください。

◇年賀状は省略させていただきます。「双葉通信」新年号でお目にかかりましょう。



【天神岬のイルミネーション（檜葉町）】（2023年12月9日撮影）



【小高交流センターのイルミネーション（南相馬市）】（2023年12月14日撮影）